【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和5年11月6日(2023.11.6)

【国際公開番号】WO2022/185803
【出願番号】特願2023-503639(P2023-503639)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｇ　4/228(2006.01)
Ｈ０１Ｇ　2/10(2006.01)
Ｈ０１Ｇ　4/32(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｇ　4/228　　Ｑ
Ｈ０１Ｇ　2/10　６００
Ｈ０１Ｇ　4/32　５４０

【手続補正書】
【提出日】令和5年8月10日(2023.8.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
底面に対向する位置に開口部が形成されたケースと、
前記ケースに充填される封止樹脂と、
前記ケースに収容される１つまたは複数のコンデンサと、
前記コンデンサの一方の電極に接続される板状の第１バスバーと、
前記コンデンサの他方の電極に接続される板状の第２バスバーと、
を備え、
前記コンデンサは前記封止樹脂の内部に配置され、
前記第１バスバーおよび前記第２バスバーのそれぞれは、前記封止樹脂の内部に配置され前記電極に接触する接触部と、前記封止樹脂の内部に配置され前記接触部から延びる埋没部と、前記埋没部から延びて前記封止樹脂の外部に配置される露出部と、を有し、
前記埋没部は、前記ケースの前記開口部から前記底面に向かう方向に延びており、
前記第１バスバーおよび前記第２バスバーの少なくともいずれか一方において、少なくとも前記埋没部には、前記封止樹脂が充填される貫通孔または前記封止樹脂により囲まれる突起が設けられている、
コンデンサモジュール。
【請求項２】
前記接触部および／または前記埋没部は、前記貫通孔を形成する、
請求項１に記載のコンデンサモジュール。
【請求項３】
前記貫通孔を形成する前記接触部は、前記ケースの前記底面から前記開口部に向かう方向に延びる、
請求項２に記載のコンデンサモジュール。
【請求項４】
前記接触部および／または前記埋没部には前記突起が設けられる、
請求項１ないし３のいずれか１項に記載のコンデンサモジュール。
【請求項５】

前記突起は、前記接触部および／または前記埋没部の端部を折り曲げて形成される第１突起部を有する、
請求項４に記載のコンデンサモジュール。
【請求項６】
前記突起は、前記接触部および／または前記埋没部の一部を幅方向に伸ばして形成される第２突起部を有する、
請求項４または５に記載のコンデンサモジュール。
【請求項７】
前記複数のコンデンサのそれぞれに対して、少なくとも１つの前記貫通孔または前記突起が設けられている、
請求項１ないし６のいずれか１項に記載のコンデンサモジュール。